

2016年1月E36ミーティング

参加者：清水俊、堀江ケイト、田端誠、伊藤博士、児玉諭士

開催日：2016年1月29日

会場：ベンチャービジネスラボラトリー2階会議室

15時ごろまで清水さん、堀江さん、田端さんでE36 AC解析方法の説明を受けていたみたい。その後、伊藤、児玉が途中参加しCsI波形解析、特に宇宙線によるエネルギー校正測定の解析進捗をプレゼンした（進捗内容は別資料を参照）。そこでの話し合いで、CsI解析の今後の解析計画が決定した。以下に示す。

- (1) モジュール・チャンネルごとに校正係数をあらかじめ答えを知っているとしたら、セカンド波高分布（つまりエネルギー分布）はどうなるか
- (2) 統計数が多い場合にCPUマルチ処理を実行することで、高速演算をすること。
- (3) セカンド波形（ミューオンが静止した結晶）は1イベントのなかに1波形だけであるとして、波形セレクションする。
- (4) ピーク時間セレクトによるバグ解消：今までのプログラムではかならず、ファースト波高>セカンド波高になっている。
- (5) χ^2 と波高の分布について統計数が低いので、高統計においてフィットして確認するべし。

堀江さんからメールでCPUマルチ演算の方法を教えて貰った。デコードのバグ処理は堀江さんに任せ、それ以降の解析プログラムについて解析状況を更新しよう。目標はNIM論文への投稿である。それも含めて来月はTEXにより原稿を書き上げよう。